



南市民センターだより

編集・発行 鶴ヶ島市南市民センター

鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘375-1

TEL 287-0235

Mail 10400040@city.tsurugashima.lg.jp

南市民センター整備基本計画策定にあたり ワークショップを開催します

南市民センターは、令和11年度、鶴ヶ島文化会館敷地に移転する予定です。

新施設の整備にあたり、今年度は整備基本計画を策定します。計画の策定にあたっては市民参加のワークショップを開催し、機能や整備の内容について検討します。現在、利用されている方はもちろん、新しい施設を利用したいと考えている方など、様々な方々から意見を伺います。

ワークショップは、3回（6

月・8月・10月）開催する予定です。全ての回への参加を前提としていきます。ぜひご参加ください。

申込み 5月7日（火）～6月8

日（土）（日・月曜日は除く）の

9時～17時、南市民センターへ直接、電話、または下記

二次元コードから申込みできます。



第1回ワークショップ

期日 6月16日（日）

時間 10～12時

場所 南市民センター

南市民センター移転説明会

3月10日、移転説明会を開催しました。参加者（153名）から様々な意見・質問をいただきました。その主な点を要約してご紹介します。

質問 なぜ、移転するのですか。

説明 全国的に人口が減少する中、国では施設の集約を推奨しており、全国的に人口減に見合う施設等の集約化を図る方向にあります。

鶴ヶ島市も、年少人口が減っており、施設の集約化を計画的に進めて

います。令和元年度策定の立地適正化計画及び令和3年度策定の公共施設個別利用実施計画において、学校も含め市全域で施設の集約を進めることとしています。鶴ヶ島中学校・西中学校の再編統合などもそうですが、鶴ヶ島文化会館敷地に南市民センターを移転し、施設の集約・複合化することも位置付けてきています。

また、公共施設の借地料も課題となつていきます。市全体で年間1億円の経費が掛かっており、現在の南市民センター用地もすべて借地という状況です。

質問 移転先決定の経緯と理由は？

説明 移転先の決定については、立地適正化計画及び公共施設個別利用実施計画の策定において、アンケートやパブリックコメントなどにより、市民の皆様のご意見をいただきながら方針決定しました。鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想策定においても令和4年度、説明会やアンケート、関係団体のヒアリング、ワークショップ、パブリックコメントを実施しています。

移転先については、立地適正化計画や公共施設個別利用実施計画を策定する際に、南市民センターをどこに移転すべきか検討する中で、市の所有地である鶴ヶ島文化会館敷地が最も適していると判断しました。

また、鶴ヶ島文化会館運営委員会からは、老朽化による文化会館の今後の維持管理や建替えに向けた相談を受けていました。そして、これまでに2度、文化会館敷地への南市民センター移転・整備に係る要望書をいただいております。今回の計画はそれを受け止めたものでもありません。

質問 移転先が海洋センターでない理由は？

説明 個別利用実施計画において、海洋センターの機能を西中学校へ移転した後に、海洋センターを廃止する予定です。海洋センター敷地の半分以上は私有地です。市の土地もありますが、接道面が主要道路に接しておらず、出入りの課題もあって、公共施設用地としては適していません。宅建協会にも意見を伺いましたが、売却して住宅地にすることが望ましいとの意見をいただいております。

質問 現在の鶴ヶ島文化会館の敷地面積で駐車場は確保できますか。

説明 下水道の上に蓋をすることで、南市民センターとほぼ同じ台数を確保できると見込んでいます。

質問 新施設の延べ床面積は1,000㎡とのことですが、大丈夫ですか。利用自治会が倍になると、ある時間帯に予約が殺到することが想定されます。延床面積が広がる可能性があります。

性はないのですか。3階建てにできないのですか。

説明 人口減少を踏まえて、鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり整備計画では2階建て約1,000㎡、約6億円で整備することとしています。ただし、この面積1,000㎡は目安として示したものです。

南市民センターの利用状況を稼働率で見ると、40%を切っています。鶴ヶ島文化会館は更に低いのが現状です。新施設について、面積の問題もあるかもしれませんが、重要なのはいかに機能的にしていけるかと認識しています。令和6年度にワークショップ等でご意見を頂き、間取り等も検討していく予定です。

現在、3階建ての想定はしていません。

意見 現在の6市民センターは老朽化しており、バリアフリーにも対応しきれいていません。館内の点字ブロックの設置やトイレの音声案内があるとありがたい。今後のワークショップでも障害者の意見を取り入れながら計画を進めていただきたい。

意見 この地域には児童館もない。子育て世代に優しい機能の設置と図書館機能の移転を要望します。

質問 ワークショップの参加募集方法は？ 市全体から募集するワークショップ

ワークショップのメンバーと、施設を利用する自治会や市民センター利用団体とでは意見や要望が異なると思いますが、その対応方法は？

説明 ワークショップの募集は、市のホームページや広報等で行う予定です。様々な方の意見を集約するのがワークショップと考えています。

意見 アンケートを実施したのは良かったと思いますが、3回予定しているワークショップ以外に、意見を揉む機会がないとまとまらないと思います。施設利用者の話し合いを増やしても良いのではないのでしょうか。

説明 利用団体等には、事前にアンケートを実施し、南市民センターの良いところや新施設に望むことなどを伺いました。ワークショップでは、これらの意見も加味しながら進めていく予定です。ワークショップ以外、自治会や施設利用団体に意見を聞く機会についても検討していきたいと思っています。

今回の南市民センターだよりでは、センターの移転・整備に関する意見等に限定し、類似の質問・意見及びその説明も集約して記載しています。全体の報告書については市ホームページに掲載しています。

ナチュラルガーデンワークショップを開催

身近なガーデンパークで、ガーデニングの基礎、デザインや手入れなどの講義のほか、宿根草の株分け、移植などを体感しながら学ぶことができます。

対象：市内在住在勤在学の方(全2回受講可能な方に限る) 第1回：6/15(土)(雨天時は6/22(土)) 第2回：9/28(土)(雨天時は10月5日(土)) 時間：9時～12時

場所：eコラボつるがしま(鶴ヶ丘331-1) 定員：15人程度(申込順)

申込み：5月7日(火)から電話または直接、都市計画課公園緑地担当(Tel271-1111内線258)へ。

その他：駐車場の用意はありませんので、徒歩か自転車でお越しください。